



1日居城野運動公園内に完成したスケートボード場2「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」花巻市実行委員会設立総会(8月7日)3県内外から1,053人がエントリーした第1回イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会(9月8日)4大迫体育館内に完成したクライミング場5スコアボード改修やスピードガン設置、芝張り替えなどが行われ、リニューアルした花巻球場

1市民の皆さんがコーラスで参加した「イーハトーブ交響曲」演奏会(8月29日)2桜台小学校で行った賢治の世界セミナー「ひとり芝居ノッポさんの宮沢賢治」(6月3日)3リニューアルする宮沢賢治記念館の展示室4「藤城清治 光のファンタジー」展(9月7日~11月17日)5「世界における宮沢賢治」シンポジウムで講演するロジャー・パルバースさん(12月1日)

スポーツでまちづくりを進める本市。ことしは、花巻球場と石鳥谷ふれあい運動公園の改修や、大迫体育館クライミング場と日居城野運動公園スケートボード場が完成し、施設の整備がますます進みました。

花巻球場リニューアルオープンを記念して、富士大学と法政大学の野球親善試合や、プロ野球イースタンリーグ公式戦を開催。また、ハンドボールやバドミントンの日本リーグ、bjリーグプロバスケットボールなどの試合を行いました。さらには、イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会を初めて開催するなど、スポーツイベントが目白押しとなったこの1年。スポーツによって本市を訪れる人口が増加し、地域の活性化が図られました。

スポーツ施設の整備は、平成28年の「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」開催を見据えたものでもあります。本市も国体実行委員会を設立し準備を始めるなど、国体開催に向けて本格的に始動しました。

スポーツでまちに活気を

本市は宮沢賢治のふるさととして、「賢治さんの香りあふれるまち」を目指しています。

たくさんの方に賢治を知ってもらおうと、市民講座「はなまき賢治セミナー」や「賢治の世界セミナー」を開催。賢治を身近に感じる催しも数多く開かれました。

賢治没後80年に当たることは、賢治への深い思いを持つ富田勲氏が作曲した「イーハトーブ交響曲」の演奏会を行いました。昨年東京で行われた世界初演に続く公演ということで注目を集めました。また、「藤城清治光のファンタジー」展や、「NHKのど自慢」、「世界における宮沢賢治」シンポジウムなどの記念イベントを開催。本市を訪れた多くの人に楽しんでほしい、賢治のまち「はなまき」を発信しました。

平成28年の賢治生誕120年に向けて、賢治関連施設のある「賢治胡四王の森」の一体的な整備に取り掛かり、宮沢賢治記念館の展示リニューアルの設計にも着手。ハード面の充実も図っていきます。

進む「賢治のまちづくり」